

篠山市福住（重要伝統的建造物群保存地区）

重森三玲 作庭

住吉神社

「住之江の庭」 修復ワークショップ

2019

1/19[±]
20_日

1/26[±]
27_日

2/02[±]
03_日

2/09[±]
10_日
11_祝

2/16[±]
17_日

2/23[±]

全日
9時～15時

1日のみの参加
でも大歓迎！

全12回

荒天中止

進捗・作業内容を随時更新

 住之江の庭

主催 | 篠山市西京街道拠点形成協議会

協議会事務局：
篠山市教育委員会 文化財課

参加費 | 無料

※外作業となります。作業しやすい暖かい恰好でお越しください。
※各自で昼食を持参下さい。（周辺に飲食店・コンビニがあります）

定員 | 各回 15名（事前申し込み優先）

会場 | 住吉神社（篠山市川原 270）無料駐車場あり

指導 | 森田 一（1級造園技能士・森庭庭園）、小山雅充（1級造園技能士・植雅造園）

協力 | 兵庫県名勝部門ヘリテージマネージャー連絡会

本事業は平成 30 年度 文化庁観光拠点形成重点支援事業の一環として実施されます

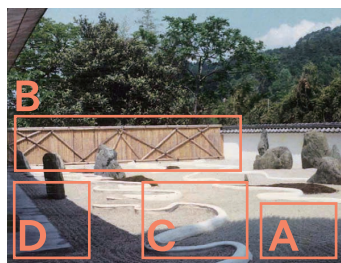
事業委託先 | 一般社団法人 ROOT

昭和 41 (1966) 年に重森三玲^{しげもりみれい}によって作庭された平庭^{ひらにわ}式枯山水庭園「住之江の庭」。

重森自身が「住吉神社が海神であるところから、住吉の海景や波打つ景観をテーマとして、神社に^{ちな}因む海島の表現を七五三的^{ほらい}石組と蓬莱式石組を兼ねた抽象表現を目的とした」と語ったその庭は、専門家からも『昭和時代の枯山水庭園としては屈指の名園』と評されています。(※)

現在は住吉神社の氏子により定期的に維持管理されている「住之江の庭」ですが、作庭から 50 年を過ぎ各所の本格的な修復が必要となってきました。今回のワークショップは作庭以来初めての大規模修復であり、一般参加型で行われるものです。修復後は、国の重要伝統的建造物群保存地区である福住地区の魅力をさらに高める「観光拠点」になることが期待されています。※平成 29 年度報告書：西桂先生資料より抜粋

ワークショップの内容 (予定)



作庭当時の写真や、専門家の意見を参考に、「作庭当時の住之江の庭」へと近づける修復作業を実施。今後は継続的な維持管理手法や、庭園の活用方法などについても、検討します。

参加人数や進捗・天候によって、作業内容に変更があります。詳細は随時更新する Facebook ページをご確認ください。
住之江の庭



A. 白川砂
(洗浄、再配置、砂紋入れ)
庭園内に敷かれた「砂」を洗い、土などを取り除きます。今は手に入らない白川砂を再利用するとともに、新しい砂と混ぜて再び庭園に敷き詰めます。最後に砂紋入れも体験可。



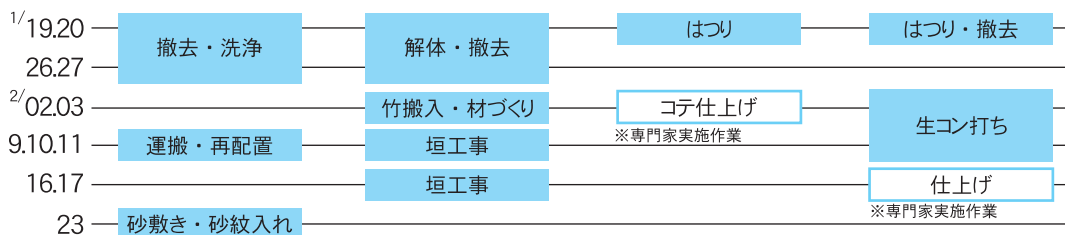
B. 竹垣
(撤去、竹材づくり、工事)
重森三玲がデザインした独創的な「網干垣」を作庭当時の姿に作り直します。材は近隣の竹林より切り出した後、竹切り・磨き作業や竹割・削り作業も行います。



C. 曲線波型
(はつり、撤出)
ところどころ、欠けが目立ってきた「曲線波型」。本庭園を特徴づける波型の漆喰を丁寧にけずりと、撤出します。その後の左官仕事の見学も可能です。



D. 犬走り
(はつり、コンクリート打ち)
白い「白川砂」と対照になるよう配置された黒い「犬走り」。ひび割れなどがあるため、上部を撤去し、新たにコンクリートを打ち直します。



お問合せ窓口

一般社団法人 ROOT^{ルート}
担当：片平
〒669-2361
兵庫県篠山市丸山 30 番地
電話：079-552-3988

参加お申込方法

下記のいずれかの方法でお申込みください。2 日以内にお返事いたします。ワークショップの詳細は実施前に事前連絡いたします。

1 FAX 06-7878-4797
申込書を FAX で送信

2 info@rootsy.jp
申込書の内容をメールで送信

3 申込書を直接持ち込み
申込書を【1】もしくは【2】へ提出

【1】篠山市役所 多紀支所 (篠山市福住 342-1)
【2】篠山市役所 第2庁舎3F 教育委員会文化財課 (篠山市北新町 41)

「住之江の庭」修復ワークショップ申込書

お名前 (ふりがな)

ご住所 〒

連絡先 お電話 (携帯電話) FAX

E-mail

参加希望日 1 月 () 19 土 () 26 土 2 月 () 02 土 () 09 土 () 16 土 () 23 土
○を付けてください。 () 20 日 () 27 日 () 03 日 () 10 日 () 17 日 () 11 祝